

新『まつもと演劇工場 NEXT』第一期生募集

文化的な魅力にあふれた松本で演劇を学ぼう！
自分たちの新しい時代の演劇をつくろう！

「まつもと市民芸術館」が7年前に始めた『まつもと演劇工場』は、今年3月にひとつの到達点ともいえる「ミステリヤ・ブッフ」公演で、地方都市の演劇学校としては類を見ない成果をあげた。今年度から俳優学校としてもさらに充実した演劇人養成機関、演劇研究機関、創造活動機関として再出発をする。新しい『まつもと演劇工場 NEXT』はこれまで以上に、これからの新しい演劇のための俳優を育てる高度な俳優養成機関になる。

と同時にそこに集まる講師陣である演出家たち、舞台芸術創造家たち相互の交流と実験の場ともなるだろう。ここでは講師と生徒の関係は、同時に新しい演劇を模索し創作していく共同活動家同士の関係にもなるだろう。

松本という町は演劇や音楽など、全ての表現活動の源を探するための理想的な環境をもっている。山々に囲まれ恵まれた自然環境と、生きることの楽しみを謳歌する人々が作り出す社会的環境。行き場を見失った大都市では見つけられない演劇本来の姿をこの松本で探することができるだろう。

授業は舞台に立つための基礎訓練カリキュラム、(ダンスやパントマイム、アクロバット、武術などの身体訓練。さまざまな発声法や合唱、朗読、対話などの発声訓練。その他さまざまな演技に関する訓練。)が行われる期間。

それから、演出家や舞台クリエイターが中心となって行われるワークショップ期間が、くり返し行われる。

つまりいくつかの方法(技術)を学び、それを応用して表現を試み、また方法を学び直すことをくり返すというわけだ。

そして最終期間にひとつの作品をつくり出し、それを市民である観客に見せることになる。

また、この『まつもと演劇工場 NEXT』に集まった人たちは、「まつもと市民芸術館」で行われるさまざまな演劇活動やフランチャイズ劇団「TC・アルプ」の活動、さらにはこの町のさまざまな文化的行事に関わることで多くを学ぶことになるだろう。

こうして演劇を広く学ぼうとする新しい人々との出会いが、私たちにとっても、また松本市の文化的な活性にも繋がっていくことを期待している。

串田和美

まつもと市民芸術館 芸術監督